

＜地域密着型サービス事業の整備計画について＞

1. 第9期（R6～R8）介護保険事業計画期間中の整備計画について

令和5年度策定の第9期計画において第8期（R3～R5）計画と同様の整備数としており、新たな整備は予定していない。（別紙のとおり）

2. 今後の検討が必要なサービス

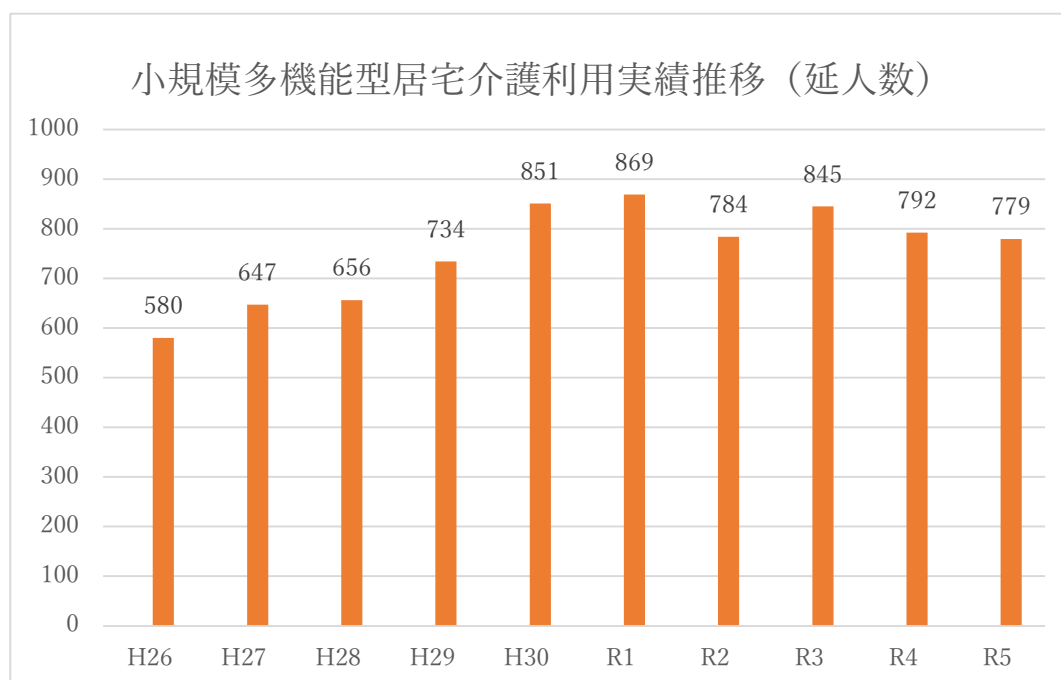
1）認知症共同生活介護（グループホーム）

加東市には3施設45床あり、各生活圏域に1施設ずつ整備されている。昨年、待機者や入所者の状況を調査した結果では、どの施設も多数の待機者はないが、今後においても現在の床数で対応が可能であるかを分析する必要がある。

	施設数	定員
社圏域	1	9
滝野圏域	1	18
東条圏域	1	18
合計	3	45

2）小規模多機能型居宅介護

加東市には3施設あり、各生活圏域に1施設ずつ整備されている。近年の利用実績は令和元年をピークに減少傾向となっているが、中長期的にみると利用者のニーズの増加も想定されるため、需要に応じて適宜検討していく。



3) 看護小規模多機能型居宅介護

現在、加東市には無いサービスである。今後、小規模多機能型居宅介護の利用者のうち、訪問看護の組み合わせが必要な利用者が増加した場合は整備していく必要があるが、市内に訪問看護事業所が6事業所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所が2事業所あるため、それらの利用状況を踏まえて検討する。

兵庫県下 58事業所 (令和6年4月1日現在)
うち北播磨 3事業所 (加西市、小野市、三木市)

4) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（定員29人以下の小規模な介護老人福祉施設）

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の待機者は減少傾向となっているが、高齢化による重度化等に伴い段階的に利用者や待機者の増加も想定されるため、第9期計画において介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）は施設数に変更ないが、8床増床する計画としており、受入可能人数としては増加見込みである。しかしながら、今後の利用状況等を踏まえて検討する必要がある。

